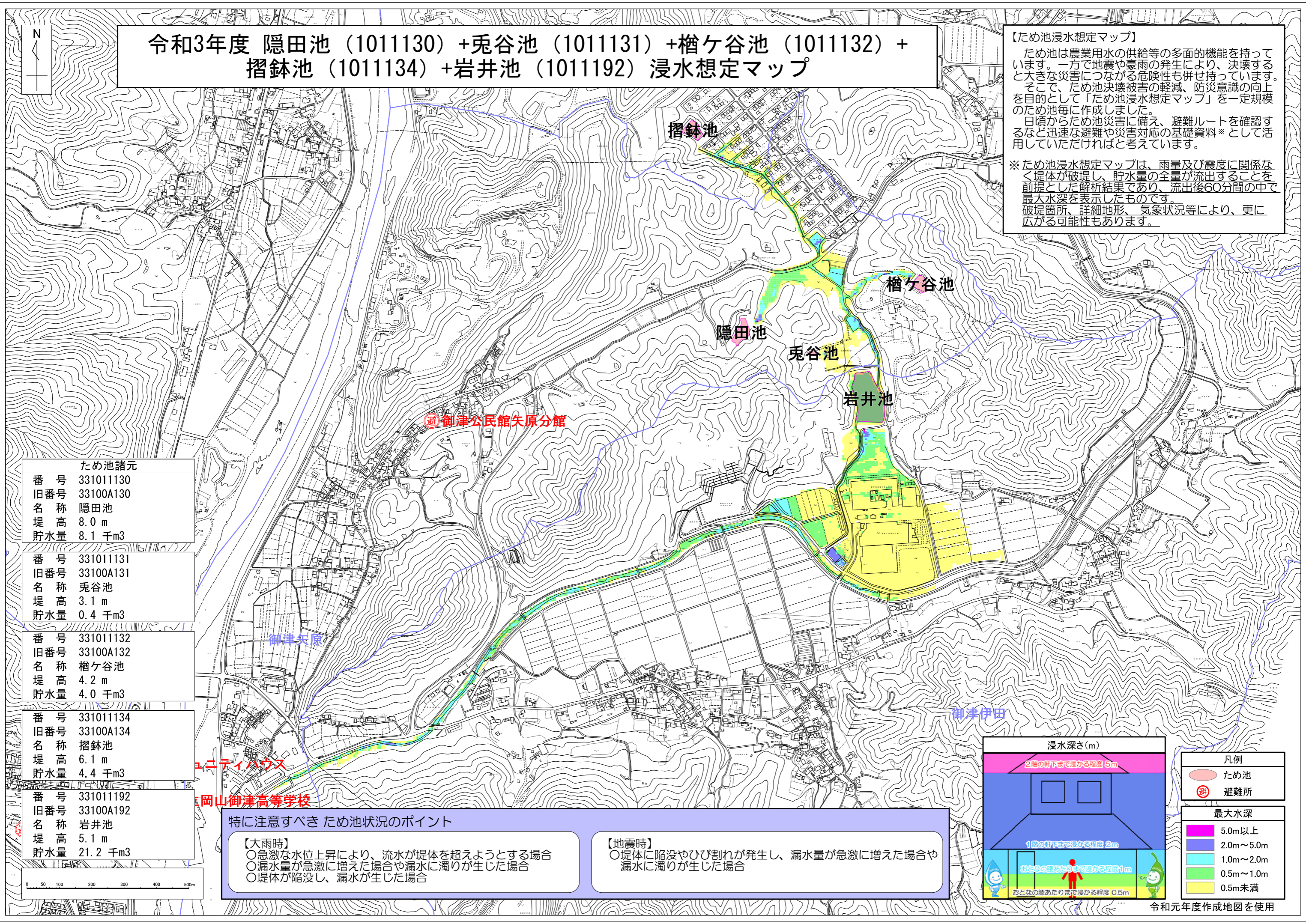


令和3年度 隠田池 (1011130) + 兎谷池 (1011131) + 櫛ヶ谷池 (1011132) + 摺鉢池 (1011134) + 岩井池 (1011192) 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料*として活用していただければと考えています。

*ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破堤し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。



ため池諸元	
番号	331011130
旧番号	33100A130
名称	隠田池
堤高	8.0 m
貯水量	8.1 千m3
番号	331011131
旧番号	33100A131
名称	兎谷池
堤高	3.1 m
貯水量	0.4 千m3
番号	331011132
旧番号	33100A132
名称	櫛ヶ谷池
堤高	4.2 m
貯水量	4.0 千m3
番号	331011134
旧番号	33100A134
名称	摺鉢池
堤高	6.1 m
貯水量	4.4 千m3
番号	331011192
旧番号	33100A192
名称	岩井池
堤高	5.1 m
貯水量	21.2 千m3

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合

